



# こんにちは！ 細木りょう です。

日本共産党高知県議団週刊ニュース

発行 日本共産党高知県議団  
編集 細木 良  
No.733 2023年11月5日  
市議会控室 823-9404  
ファックス 823-9558  
携帯090-8972-1478  
高知市介良乙3668-11

このニュースは公務活動費の一部を活用しています

## 細木代表質問答弁要旨

9月27日、日本共産党県議団を代表して質問を行いました。主な答弁要旨は以下の通り（詳細は共産党県議団HPをご参照ください）



### ◆関東大震災の朝鮮人虐殺

災害時の流言飛語への対応が防災の取組にとって重要であると指摘し、100年前の関東大震災時の警察・自警団による朝鮮人等の虐殺問題について歴史認識を質しました。

知事は「関東大震災時に発生したとされる虐殺については、様々な証言あるいは言い伝えがあることは承知している。ただ、政府の公式見解は、政府内に事実関係を把握できる記録が見当たらない、という形で整理をされており、県行政の長として、この問題についてのお答えは差し控えていただく」と歴史をゆがめる政府に追従しました。

### ◆こどもの医療費助成

知事「どういう形で支援できるか検討したい」

昨年度の県のこども医療費助成は、補助金額は3.2億円、対象人数は26000人余りで、制度の拡充がないため、10年前より予算で1億円、助成人数も14000人減っている。県の助成制度を小学校卒業まで拡充するにはあと3億円、一般会計予算の0.1%未満で可能。県が拡充すれば県内すべての自治体で高校卒業まで医療費無料化が展望できると知事の決意をただしました。

知事は、「基本的に国の制度として充実すべきだが、県内自治体からも強い意見をいただいております。来年度、人口減少対策の財政支援の中で支援できるか検討したい」と一歩踏み込んだ答弁がありました。

### ◆特別支援学校のこども福祉避難所指定

「残り6校についても取り組む」と部長

障害児の避難所について、特別支援学校を指定し整備をすすめるべきと提案。子ども福祉部長は、

「現在、障害児に特化した福祉避難所はないが、バリアフリー化した施設であり、障害に対する専門性を有していることから、17校中8校②が福祉避難所に指定している。未指定の9校のうち、2校は病院の中にあり、別の1校は災害警戒区域内に立地していることから、福祉避難所の指定は困難。残りの6校について、市町村と連携し、指定に向けて取り組む」と約束させました。

◆その他 熱中症防止のためのクーリングシェルター設置、教員確保に向けた採用方法の提案、断熱改修リフォーム制度拡充など前向きな答弁を引き出すことができました。

### 郷土の軍事化は許さない

10月24日、共産党県議団は、知事に対し、「県内港湾・空港の『特定重要拠点（仮称）』整備に関し、県民への情報公開を求める要請文を提出し、対応した井上副知事と懇談しました。この問題は、日経新聞が9月29日に「防衛強化へ空港・港湾拡充」の見出しで報道、整備対象として全国33施設のうち、高知県内では高知空港、宿毛湾港が候補として挙がっていました。

その後10月17日、高知新聞が報道し、市民からは「特定重要拠点に指定されることで攻撃の対象になるのではないかと。情報が不足しており不安」などの声が寄せられています。

今後のスケジュール、指定に向けての話などは未定ですが、県民の不安を払拭する上でも情報公開することとともに、97年に県議会で全会一致で決議された「高知県の港湾における非核平和利用に関する決議」に基づき、県内の港や空港を軍事利用させない世論づくりが重要です。併せて26日投票の県知事選挙でも重要な争点になるのではないのでしょうか。



### 参議院補選「広田さん」見事な勝利！！

投票日の翌日、県庁前で県議団・市議団がせいぞろいし、選挙結果報告と県知事・市長選への決意を述べました。